

スコアシート		実施設計段階		建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
配慮項目	環境配慮設計の概要記入欄	評価点	重み係数	評価点	重み係数			
0 建築物の環境品質								2.9
Q1 室内環境								2.9
1 音環境		2.6	0.15	-	-			2.6
1.1 騒音		3.0	0.40	-	-			
1.1.1 室内騒音レベル		3.0	1.00	3.0	-			
1.1.2 設備騒音対策		-	-	-	-			
1.2 遮音		3.0	0.40	-	-			
1.2.1 開口部遮音性能		3.0	1.00	3.0	-			
1.2.2 界壁遮音性能		-	-	3.0	-			
1.2.3 界床遮音性能(軽量衝撃源)		3.0	-	3.0	-			
1.2.4 界床遮音性能(重量衝撃源)		3.0	-	3.0	-			
1.3 吸音		1.0	0.20	3.0	-			
2 温熱環境		2.6	0.35	-	-			2.6
2.1 室温制御		3.0	0.50	-	-			
2.1.1 室温		3.0	0.42	3.0	-			
2.1.2 負荷変動・追従制御性		-	-	-	-			
2.1.3 外皮性能		3.0	0.22	3.0	-			
2.1.4 ゾーン別制御性		3.0	0.36	-	-			
2.1.5 温度・湿度制御		-	-	-	-			
2.1.6 個別制御		-	-	-	-			
2.1.7 時間外空調に対する配慮		-	-	-	-			
2.1.8 監視システム		-	-	-	-			
2.2 湿度制御		1.0	0.20	3.0	-			
2.3 空調方式		3.0	0.30	3.0	-			
3 光・視環境		3.0	0.25	-	-			3.0
3.1 昼光利用		3.0	0.52	-	-			
3.1.1 昼光率		-	-	3.0	-			
3.1.2 方位別開口		-	-	3.0	-			
3.1.3 昼光利用設備		3.0	1.00	3.0	-			
3.2 グレア対策		-	-	-	-			
3.2.1 照明器具のグレア		-	-	-	-			
3.2.2 昼光制御		-	-	3.0	-			
3.2.3 映り込み対策		-	-	-	-			
3.3 照度		-	-	3.0	-			
3.4 照明制御		3.0	0.48	3.0	-			
4 空気質環境		3.6	0.25	-	-			3.6
4.1 発生源対策		4.0	0.50	-	-			
4.1.1 化学汚染物質	・ほぼ全面的にF 建材を採用する	4.0	1.00	3.0	-			
4.1.2 アスベスト対策		-	-	-	-			
4.1.3 ダニ・カビ等		-	-	-	-			
4.1.4 レジオネラ対策		-	-	-	-			
4.2 換気		2.0	0.30	-	-			
4.2.1 換気量		3.0	0.50	3.0	-			
4.2.2 自然換気性能		-	-	3.0	-			
4.2.3 取り入れ外気への配慮		1.0	0.50	3.0	-			
4.2.4 給気計画		-	-	-	-			
4.3 運用管理		5.0	0.20	-	-			
4.3.1 CO ₂ の監視		-	-	-	-			
4.3.2 喫煙の制御	・全館禁煙とする	5.0	1.00	-	-			
Q2 サービス性能		-	0.30	-	-			3.4
1 機能性		3.8	0.40	-	-			3.8
1.1 機能性・使いやすさ		3.0	0.40	-	-			
1.1.1 広さ・収納性		-	-	3.0	-			
1.1.2 高度情報通信設備対応		-	-	3.0	-			
1.1.3 バリアフリー計画		3.0	1.00	-	-			
1.2 心理性・快適性		4.3	0.30	-	-			
1.2.1 広さ感・景観	・売り場の天井高さは4.2m	5.0	0.33	3.0	-			
1.2.2 リフレッシュスペース	・店舗面積 = 558.11 レストスペース = 70.10+3.70+6.63 = 80.43 14.41%	5.0	0.33	-	-			
1.2.3 内装計画		3.0	0.33	-	-			
1.3 維持管理		4.5	0.30	-	-			
1.3.1 維持管理に配慮した設計	・イージーメンテナンスを主眼に材料を選択	5.0	0.50	-	-			
1.3.2 維持管理用機能の確保	・客用WC近辺に掃除用流し及び清掃用具室(SK室)を計画	4.0	0.50	-	-			
1.3.3 衛生管理業務		-	-	-	-			
2 耐用性・信頼性		3.0	0.31	-	-			3.0
2.1 耐震・免震		3.0	0.48	-	-			
2.1.1 耐震性		3.0	0.80	-	-			
2.1.2 免震・制振性能		3.0	0.20	-	-			
2.2 部品・部材の耐用年数		3.1	0.33	-	-			
2.2.1 躯体材料の耐用年数		3.0	0.23	-	-			
2.2.2 外壁仕上げ材の補修必要間隔		2.0	0.23	-	-			
2.2.3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔		3.0	0.09	-	-			
2.2.4 空調換気ダクトの更新必要間隔	・屋外露出ダクトはガルバリウムダクトとする	4.0	0.08	-	-			
2.2.5 空調・給排水配管の更新必要間隔	・配管の必要更新間隔は50年を想定	5.0	0.15	-	-			
2.2.6 主要設備機器の更新必要間隔		3.0	0.23	-	-			

2.4 信頼性			3.0	0.19	-	-	
1 空調・換気設備			3.0	0.20	-	-	
2 給排水・衛生設備			3.0	0.20	-	-	
3 電気設備			3.0	0.20	-	-	
4 機械・配管支持方法			3.0	0.20	-	-	
5 通信・情報設備			3.0	0.20	-	-	
3 対応性・更新性			3.4	0.29	-	-	3.4
3.1 空間のゆとり			4.6	0.31	-	-	
1 階高のゆとり		1階階高 = 5.29m 2階階高 = 3.76m 平均 = 4.52m	5.0	0.60	3.0	-	
2 空間の形状・自由さ		基準階面積 = 2119.02㎡ 壁長さ = 244.38m 壁長さ比率 = 0.11	4.0	0.40	3.0	-	
3.2 荷重のゆとり			3.0	0.31	3.0	-	
3.3 設備の更新性			3.0	0.38	-	-	
1 空調配管の更新性			3.0	0.17	-	-	
2 給排水管の更新性			3.0	0.17	-	-	
3 電気配線の更新性			3.0	0.11	-	-	
4 通信配線の更新性			3.0	0.11	-	-	
5 設備機器の更新性			3.0	0.22	-	-	
6 バックアップスペース			3.0	0.22	-	-	
Q3 室外環境(敷地内)			-	0.36	-	-	2.4
1 生物環境の保全と創出			1.0	0.30	-	-	1.0
2 まちなみ・景観への配慮			3.0	0.40	-	-	3.0
3 地域性・アメニティへの配慮			3.0	0.30	-	-	3.0
3.1 地域性への配慮、快適性の向上			3.0	0.50	-	-	
3.2 敷地内温熱環境の向上			3.0	0.50	-	-	
LR 建築物の環境負荷低減性			-	-	-	-	3.2
LR1 エネルギー			-	0.40	-	-	3.2
1 建築物の熱負荷抑制		PAL = 294.52 MJ/㎡・年	4.3	0.13	-	-	4.3
2 自然エネルギー利用			3.0	0.25	-	-	3.0
2.1 自然エネルギーの直接利用			3.0	0.50	-	-	
2.2 自然エネルギーの変換利用			3.0	0.50	-	-	
3 設備システムの高効率化		ERR=8.9%	3.3	0.37	-	-	3.3
集合住宅以外の評価 (ERRによる評価)		ERR=8.9%	3.3	-	-	-	
集合住宅の評価			-	-	-	-	
4 効率的運用			3.0	0.25	-	-	3.0
4.1 モニタリング			3.0	0.50	-	-	
4.2 運用管理体制			3.0	0.50	-	-	
LR2 資源・マテリアル			-	0.30	-	-	3.3
1 水資源保護			3.4	0.15	-	-	3.4
1.1 節水		節水型器具、自動水栓、節水コマ採用	4.0	0.40	-	-	
1.2 雨水利用・雑排水等の利用			3.0	0.60	-	-	
1 雨水利用システム導入の有無			3.0	0.67	-	-	
2 雑排水等利用システム導入の有無			3.0	0.33	-	-	
2 非再生性資源の使用量削減			3.4	0.63	-	-	3.4
2.1 材料使用量の削減			2.0	0.07	-	-	
2.2 既存建築躯体等の継続使用			3.0	0.25	-	-	
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用			3.0	0.21	-	-	
2.4 非構造材料におけるリサイクル材の使用			3.0	0.21	-	-	
2.5 持続可能な森林から産出された木材			-	-	-	-	
2.6 部材の再利用可能性向上への取り組み		・内装下地はLGSとし、設備配管は躯体埋め込みとしない	5.0	0.25	-	-	
3 汚染物質含有材料の使用回避			3.0	0.22	-	-	3.0
3.1 有害物質を含まない材料の使用			3.0	0.32	-	-	
3.2 フロン・ハロンの回避			3.0	0.68	-	-	
1 消火剤			-	-	-	-	
2 発泡剤(断熱材等)			3.0	0.50	-	-	
3 冷媒			3.0	0.50	-	-	
LR3 敷地外環境			-	0.30	-	-	3.0
1 地球温暖化への配慮		ライフサイクルCO2排出率 = 92%	3.3	0.33	-	-	3.3
2 地域環境への配慮			2.6	0.33	-	-	2.6
2.1 大気汚染防止			3.0	0.25	-	-	
2.2 温熱環境悪化の改善			2.0	0.50	-	-	
2.3 地域インフラへの負荷抑制			3.5	0.25	-	-	
1 雨水排水負荷低減			3.0	0.25	-	-	
2 汚水処理負荷抑制			3.0	0.25	-	-	
3 交通負荷抑制		・駐車台数を確保し、大型車がスムーズに進入できる切下巾を確保した	5.0	0.25	-	-	
4 廃棄物処理負荷抑制			3.0	0.25	-	-	
3 周辺環境への配慮			3.1	0.33	-	-	3.1
3.1 騒音・振動・悪臭の防止			3.0	0.40	-	-	
1 騒音			3.0	1.00	-	-	
2 振動			-	-	-	-	
3 悪臭			-	-	-	-	
3.2 風害・砂塵、日照障害の抑制			3.0	0.40	-	-	
1 風害の抑制			3.0	0.70	-	-	
2 砂塵の抑制			3.0	-	-	-	
3 日照障害の抑制			3.0	0.30	-	-	
3.3 光害の抑制			3.7	0.20	-	-	
1 屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策		・周辺環境に配慮した明るさとし、防犯に配慮した常夜灯を計画した	4.0	0.70	-	-	
2 昼光の建物外壁による反射光(グレア)への対策			3.0	0.30	-	-	